

そのために、グループ全体で医師確保に手を尽くしているのですが、その進捗状況は順調とは言えないのが現状です。

この点に関しては、今しばらくの時間をいただきたいと存じます。

(2) 災害対策について

2011年3月11日に発生した東日本大震災の記憶はいまだに鮮明であり、また被災地の皆さんのご苦勞も続いていることが報道されていますが、昨年8月には南海トラフ沿いで起きることが想定されている巨大地震について、国の有識者会議から発表がありました。南海トラフは静岡県の駿河湾から九州東方沖まで続くとされていますから、これに沿った大きな地震が発生すれば、その被害はこれまでの想定を超えた甚大なものとなるであろうと警告をしています。



各家庭では、これまで3日分とされていた水や食料などの備蓄を1週間分に増やすよう勧められていますので、皆様のご家庭でも準備をお進めになっていることと思います。

医療機関でも対策を迫られています。偕行会グループは、三重県から埼玉県まで20の透析施設を開設しております。これらの施設間での連絡体制を整え、被害を免れた施設にヒトとモノを集中させて、できるだけ多くの皆さんに透析医療を提供できることができるように準備を進めて参ります。

しかし、血液透析を行うためには電気・水道・ガスなど、いわゆるライフライン